

秋の夜長の「お月見団子」作り



9月に入り、少しずつ秋の涼しさを感じるようになりました。園庭の木々も色づき始め、秋の訪れを感じさせてくれます。そんな中、ひばり幼稚園の年小組では、正課活動の一環として「食育」を行い、秋の風物詩である「お月見」をテーマにした活動を実施しました。

子どもたちはお月見の由来や、満月を見ながらお団子を食べる日本の伝統について学び、その後、みんなで楽しく「さつまいものお月見団子」を作りました。

小さな手で一生懸命に丸めたお団子は、一人ひとりの個性が溢れ、形もさまざま。食材の感触や柔らかさ、形を作る楽しさを感じることができました。

秋の味覚と文化に触れる食育活動



完成したお団子を見て、「うさぎさんが見に来てくれるかな？」とワクワク。お団子作りを通じて、子どもたちは季節の行事や食材に触れ、食べ物の大切さを実感する良い機会となりました。

このように、ひばり幼稚園では食育活動を通じて、子どもたちが食べることの楽しさや日本の文化に親しみを持てるよう、日々の活動を行っています。

また、秋の行事としてバスに乗って「おもほり」に出かけ、さつまいもを自分たちの手で収穫する予定です。今回の「さつまいものお月見団子づくり」ともつながるこの行事は、子どもたちが自然と食材の大切さを実感できる貴重な体験となるでしょう。

ひばり新聞

Hibari

号外

発行月

9月

感謝の気持ちを込めて～敬老の日～

ひばり幼稚園では9月に「敬老の日」の行事を行いました。

この日に向けて、子どもたちは祖父母へ感謝を込めたプレゼント作りに挑戦。一生懸命気持ちを込めた「お守り」を作成しました。「ありがとう」の気持ちを表現する作品には、子どもたちの優しさが詰まっており、一つひとつが心温まる仕上がりです。

そして行事の日には、子どもたちに「敬老の日」の由来を伝え、おじいちゃんやおばあちゃんへの感謝の気持ちを大切にするこの意味を学びました。



がんの啓発チャリティーライブに出演

9月7日(土)、池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアターにて開催された「Remember Girls' Power!2024」チャリティーライブに、学校法人山口学園がアカデミア共催として参加しました。

このイベントは、小児がんおよびAYA世代(15歳～39歳)のがん、さらに臨床試験(治験)に関する理解を広めることを目的としており、がん情報サイト「オンコロ」と豊島区が共同で主催しました。

当学園は教育施設として子どもたちの健やかな成長を支えるため、医療分野に関する活動も積極的に取り組んでいます。医療アドバイザーの導入や、園児に対する「メディカルタイム」の実施など、医療と教育の両面から園児の成長をサポート。当日は園職員がステージに登壇し、学園の医療と健康に関する取り組みについて発表を行いました。司会の笠井信輔さんたちとのセッションも行い、学園が医療・健康分野に取り組む意義や、自分自身の身体や健康に関する理解を深める重要性について意見交換が行われました。



今月のお知らせ

ライブ出演の記事も掲載

Remember Girl's Power!!2024に出演の様子はInstagramでも公開中！
その他にも医療・健康への取り組みも紹介しておりますのでぜひご覧ください！



@HIBARI_KINDERGARTEN